



安心とつるおの下の野三の手をさめて

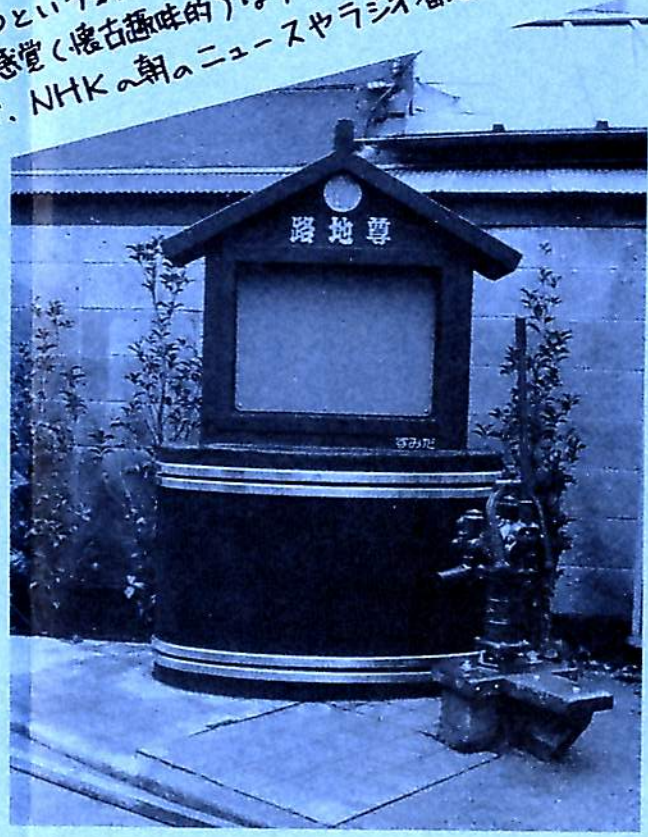
防災 まがてら瓦版

発行の寺言問を防災のまがてらする会

昭和63年6月1日

雨水利用 路地尊が完成した

路地尊のことは、皆さんすでにご存じでしょう。防災機能を備えた一寺言問のオリジナル屋外家具です。路地の安全を守るシンボルであることから、路地尊と名付けられました。
先日(3月30日)、同島五丁目に第2号の路地尊が完成しました。今度の路地尊は、地下のタンクに雨水をためるといった新しい試みとなっています。手押しポンプも付き、なんとなくレトロ感(懐古趣味的)なデザインです。全国的にもめずらしい装置だということで、NHKの朝のニュースやラジオ番組でも取りあげられ話題になりました。



むかし、街のあちこちに天水槽があり、火事の初期者火用水として、屋根に降った雨水をためていました。昔はその水を植木や道にまいて使っていました。雨水利用の発想はそこから生まれました。
路地尊の地下には、耐震性の貯水タンク(3トン入)を埋めています。屋根に降った水は雨樋を伝わり、路地尊にはいり、浄化されてタンクにはいります。水量は路地尊の後ろについた目盛計でわかるようになっています。タンクの水は手押しポンプでくみ上げられます。路地尊の収納庫(裏手)には、バケツやホウキ、ジョウロがはいっています。掲示板もついています。

3月30日に、現地で路地尊完成式典がおこなわれました。除幕式の後、屋根にホースで「雨」を降らせてタンクに注水。墨田区緑化係提供の苗木を植樹し、タンクの水を手押しポンプでくみあげて、水をやりました。

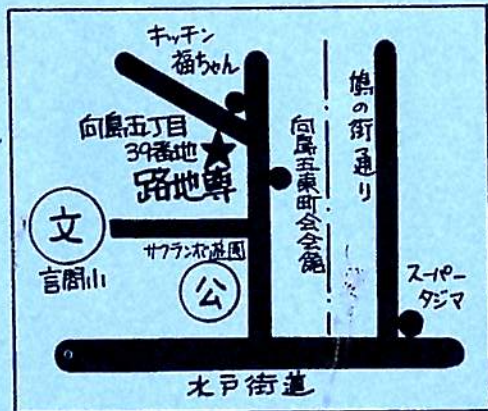


募集

各地に路地尊を設置していく予定です。設置場所を探しています。いい土地がありましたら、ご一報下さい。連絡先は、一言会事務局 (tel 626-3151 内655)まで。

路地尊を見に来て!!

路地尊が設置されたのは向島五丁目39番地。キッチン福ちゃん前の三角形の空地です。水戸街道で薬局を営む早矢仕さん、土地を無償で貸して下さいました。雨水はお隣りの堀さん宅の屋根からいただいております。みなさん、一度ごらんになって下さい!



路地尊の前の道路が広がったよ。

路地尊の前の道路は、路地尊設置を機に、道路中心線から2mの位置まで広がりました。これも早矢仕さんの協力を得て、昨年12月にスタートした墨田区細街路拡幅整備事業によって工事がおこなわれました。

注意 路地尊の水は水質調査中

雨水は初期消火用にためています。いざという時に使えるように、目盛計で水量をよく見ながら、植木の水や道路の打ち水に使って下さい。なお、雨水が非常用の飲み水に使えるか、水質調査をしています。ですから、水は絶対に飲まないで下さい。

いや災害のときに、路地尊にためてある雨水を初期消火に使用おうじゃないか。普段は、植木の水やりや打水に雨水を使用おうじゃないかということ、ホンスがついてくるのですが、さ、そく子供たちがめずらしが、遊んでおりました。おもしろそうなものを見つけたときの子供の眼は輝いておりますからね。
「あまり無茶してこわすなよ」と注意しておいたのですが、強く禁止すべきな

のか、容認すべきなのか、難しい問題です。言問小学校のすぐ近くにありますが、路地で遊ぶ子供たちの集合場所になれば良いと思います。3時に路地尊前に集合し子供たちがホツリホツリと集ってくる。それを路地尊が見守っている。また子供たちも路地尊を大切にします。そんな下町路地風景もなかなかいいじゃないですか。



路地が遊ぶ子供たちの集合場所になれば、すずらん勉強会 阿部洋一さん

山田かつてない

タイム・ロジソン 路地尊 ガリクソン



白十字薬局 浅屋英一さん

このたびは私共のまちに、山田かつてない科学の粋をあつめた、最新式の防災設備を贈りましたことができて、ありがとうございました。

屋根から流れる雨水をためたる、いとおかし。まいて、手動式にて雑吐水のごとき、なおあわれなり、と誦うようなしゃれ、遊び心、ユーモアあふれる大傑作の裏に、この路地尊をつくりになったかたがたの防災に対する熱意と心意気がよくわかります。

この路地尊こそ、いかなる最新式の防災設備に勝るとも、劣らないものでございます。一寺言問の防災意識を高め、有事の時のまちの人々の一致団結の守り本尊となると思います。近頃評判のもの、タイムソン、ロジソン、カリクソン。私たちは路地尊様を誇りとして大事に大切にしていきたいと思います。どうぞ路地尊様、私共のまちを、夜の守り、日の守りに守りたまひ、常磐堅磐に立栄えしめたまえと心よりお願い申し上げます。



ありがとうございます。路地尊の話題



の話題

[取材 / 高原純子]

タイムソン、カリクソンが雨の多い地域にも雨水利用しているんですよ!! (緑)

赤い糸で結ばれていたのかも...

一言会理事 小倉利夫さん

路地尊を設置する場所を探して、防災部の古石さんと町内を廻ったのですが、住んでいる方と地主さんが違ったり、奥まわって人目につかない場所だったりして、なかなか候補地が見つかりませんでした。

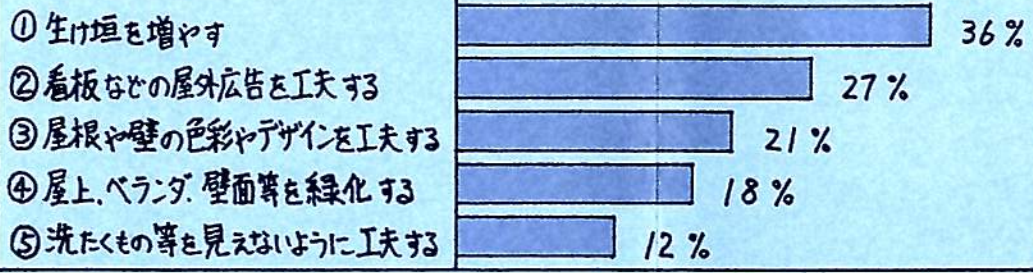
ひよんなことで、あの三角形の土地はどうだろうかという話になり、副会長の土屋さんが地主の早矢仕さんに相談したところ、ふたつ返事で承知してくれました。それから速かったですね。かねがね一言会で研究していた雨水をためるタイプの路地尊にしよう、では雨水は隣の堀さんから頂戴しよう。工事ははじまり、近所には迷惑をかけました。あ、という間に路地尊ができてしまいました。良かったですね。

考えてみますと、町会の防災倉庫は今までこそさくらんぼ遊園にあります。以前は路地尊が立っている場所にあります。これも何かの縁ですね。きっと路地尊とは昔から赤い糸で結ばれていたんでしょうね。



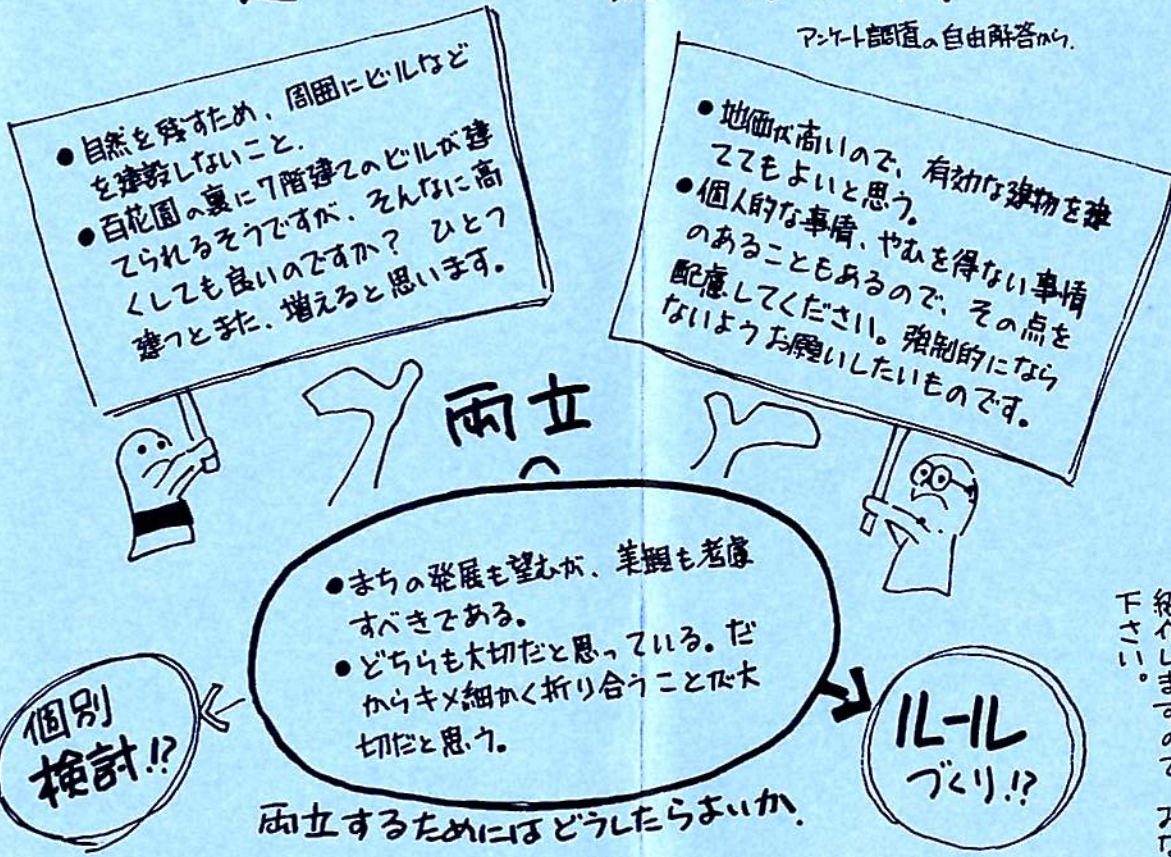
通りがかりの人が、「あら、こんなのできたのかしら」といって、掲示板を見たり、さわったりしています。近所では路地尊のこと、みんな知っていますよ。このあいだNHKのテレビやラジオが来て賑やかだったから。よそから来たお花見の人、ホンスで水を出してみても、飲めたらいいのね」といって、いたわよ。大きな桶が土の中に埋めてあって、雨水がたくさんたまるから、地震が来ても安心です。ありがたいことです。

グラフ1 協力できる美観づくりの方法

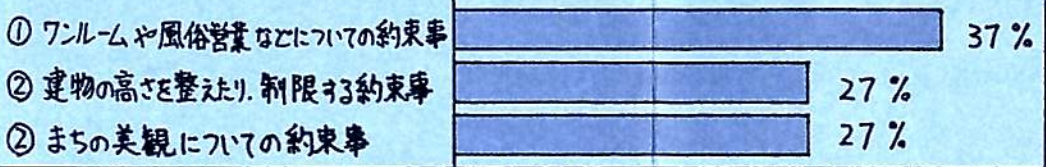


建物の高さが美観づくりのネック!?

アンケート調査の自由解答から



グラフ2 「まちづくりの約束事」に盛り込む内容



向島百花園周辺の環境

環境と防災・活性化の両立をめざして

アンケート調査結果まとまる



この調査は、向島百花園周辺約60m以内にお住まいの145世帯を対象におこなわれました。134世帯に配布し、3日間で89世帯の方々から回答をいただきました。回収率は、66%でした。

向島百花園は、江戸時代の庶民文化が作りだした全国的にも他に類を見ない庭園として国の文化財に指定されています。一寺言問地区の誇るべき財産のひとつといえるでしょう。

ところで、二三年前から、この向島百花園の近隣のマンション建設をめぐって、計画の見直しを求め運動がおこなわれています。マンションが建つと百花園からのぞむ風光明媚な景観が損われる。例えば、恒例の月見の宴が台無しになる、ということなどで関係者、近隣住民を中心とした「名勝向島百花園の環境を守る会」が発足し、一昨年には地元住民をはじめ、全国から一万人の署名を集めました。その結果、ひとつのマンションは建設をとりやめ、駐車場になりました。ひとつのマンションは、看板などについて景観的な配慮をすることを約束し、ひとつのマンションは、当初の八階建てから七階建てに計画変更しました。

百花園の近くには明治通りが走っており、明治通りの沿道は一寺言問地区を大火から守る延焼遮断帯として、現在不燃化がすすめられています。マンションなどの不燃建築物が建つことは、百花園周辺の防災に役立ちます。まちの活性化にも役立ちます。

一言会ではこの間、いろいろと議論してきました。「問題は美観なども含めて、環境と防災、あるいは活性化をどのように両立していくのか、また両立するには具体的にどのような条件が必要なのか、にある。しかしそれは基本的に周辺に住んでいる方々が決めることだから、ご意見をうかがい、その結果をまちの話題としていただき、今後のまちづくりの資料としていただければ」と考え、先日(二月十七日)二三日(に)アンケート調査を実施しました。

環境と防災・活性化の両立に関する問題は、百花園だけに限らないと思われます。調査結果の一部を紹介しますので、みなさんもしょとなく考えてみてください。

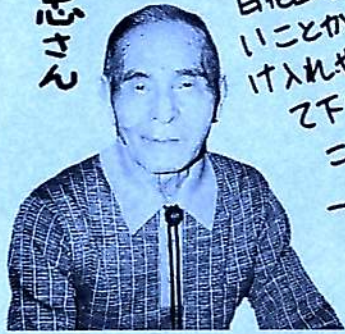
私にまちづくりスタッフです ⑫

きり、とした眉、ちよっとんなった鼻、笑った時、少年のような眼差しになる麦屋安忠さん。墨田区で最長老の町会長（東は島宮元町会長）。今年、86才。埼玉県寄居市より上京。截前の東京高等工業学校染色科を卒業。都内の染色工場を修業をつみ、禊一貫で麦屋染工場を築きあげた。

この地に移り住んだのは昭和25年、まだ囲いは畑だった頃である。五男二女の子宝に恵まれ、麦屋染工場では会長として現役である。二山までたいした病氣もせず、や、てこれたのは「働くことが健康だったから」とおっしゃる。一言会は住民参加のまちづくり。実現しやすいことから始めればよい。さしあたって、東向島三丁目は緑の991町、百花園もあり、庭付きのお住まいも991のことから考えたら、緑の生け垣は受け入れやすい施設ではないか、と話し下された。早年は米寿、金婚式と二重のお喜ぶの年にあたる。(純)

一言会副会長

麦屋安忠さん



旧墨堤之苗の整備に向けた

住民の意見

旧墨堤

2月17日、旧墨堤え道（子育地蔵～白龍神社）の沿道住民の方々が集まって、整備方針について話し合いました。その結果、住民案として、次のようなことがまとまりました。

- ① 歩車道の段差を少なくし、ガードレールをボラード(車止め)に変える。
- ② 車道は一部舗装を変え、車の走行速度を遅くさせる。
- ③ 電柱は植栽帯に移し、景観に配慮したものに変わる。
- ④ 植栽は、土手下側に寄せ、景観的に優んだ樹種を優先。
- ⑤ 側溝は、片方に排水が集中しないようにする。
- ⑥ 土手のコンクリート擁壁と階段をタイル張り等により化粧する。
- ⑦ 子育地蔵前の歩道を交差点側に広げ、整備する、など。

防災まちづくり功労者を表彰

一言会では、一寺言問地区の安全性やうるおいの向上に努力していただいた方を、毎年10名程度表彰することになりました。現在、以下の七項目を基準に、功労者を選考中です。

- ① 塀の生け垣化
- ② 細街路の拡張、開切り
- ③ まちづくり用地の提供
- ④ 防災まちづくりの整備事業への協力
- ⑤ 街並みの美観形成への協力
- ⑥ 防災まちづくりの普及啓発への努力
- ⑦ その他、防災まちづくり促進への寄与

一寺言問 / 防災まちづくり瓦版

第14号 昭和63年6月1日発行

編集 / 一言会・瓦版編集局

高原純子、若木菊枝

(編集協力 / ママ都市建築研究所)

発行 / 一言会・事務局

墨田区権網1-1-1 墨田区都市整備部 都市整備課 5階内 Tel (626) 3151 (代65)

街を美しくすることは、「良いこと」であり、積極的に協力したい人が27%、「できることなら美しい街にしていきたい」人が65%、合わせて9割以上の人がまちの美観形成に賛成しています。

具体的な意見としては、建物の高さやビル建設の開設に關したことが多くありました。ビル建設を規制する意見がある一方で、ビル建設もやむを得ないという意見もあり、両者の間には、両立を求めるとも出され、大変関心が高いことわかりました。協力できる美観づくりの方法は、夕い唄に

- ① 生け垣を増やす 36%
- ② 看板などの屋外広告を工夫する 27%
- ③ 屋根や壁の色彩やデザインを工夫する 21%
- ④ 屋上、バルコニー、壁面等を緑化する 18%
- ⑤ 荒れ地等を見えないように工夫する 12%

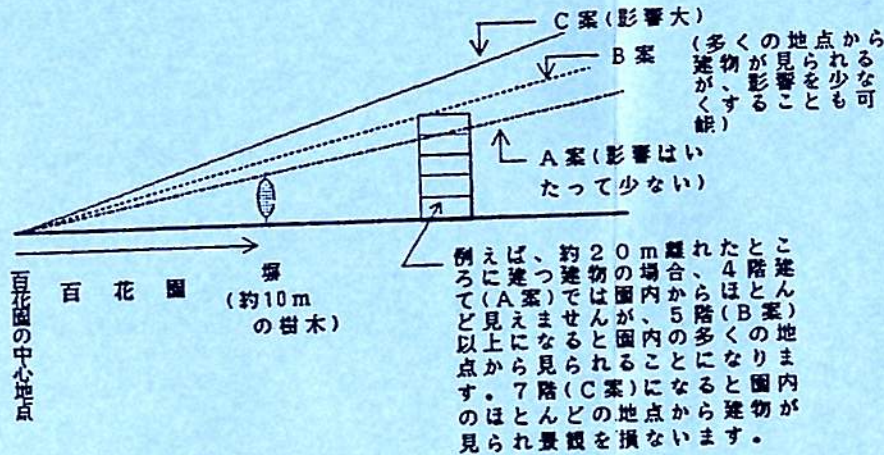
なお「生け垣」は4m未満の路地沿いの方々に多く、その他は明治通りや4m以上の道路沿いの方々に多い意見でした。

まちづくりの約束事を決めることについては、「みんなで作る約束事」だから協力したい」が12%、「内容によっては協力できる」が55%、合わせて67%の人が協力の意向を持っており、反対する人は一人もおりませんでした。

「まちづくりの約束事」に盛り込む内容として、① ワンルームや風俗営業などについての約束事 37%、② 建物の高さを整えたり、制限する約束事 27%、③ まちの美観についての約束事 27%、そして、まちづくりを進めるための行政援助として望むものは夕い唄に、① 補償金、助成金 47%、② 税の優遇 41%、③ 建築制限の緩和 17%。

建物の高さとの関係性をみると...

建物の高さ	A 案	B 案	C 案
百花園からの距離	周辺の樹木に建物が隠れる高さ	建物があっても広がりを感じられる高さ	建物によって囲われていると感じる高さ
塀際から 20m未満	3階～4階 (10～14.0m)	4階～5階 (12.5～17.5m)	5階～7階 (16.7～23.3m)
20m以上 40m未満	4階～6階 (14.0～18.0)	5階～7階 (17.5～22.5)	7階～10階 (23.3～30.0)
40m以上 60m未満	6階～7階 (18.0～22.0)	7階～9階 (22.5～27.5)	10階～12階 (30.0～36.6)



百花園の中心からまわりを見渡したとき、建物の高さによって、どのような景観が形成されるかを検討しました。左表は、百花園の塀際から距離別にみると、「周辺の樹木に建物が隠れる高さ」「建物があっても広がりを感じられる高さ」「建物によって囲われていると感じる高さ」は、どのくらい(何階建)になるかを整理したものです。

*この図表は、アンケート調査の参考資料として、一言会が作ったものです。